

「平成 26 年度可燃性天然ガスが発生する温泉採取井戸埋め戻し方策  
検討委託業務」に係る  
可燃性天然ガス発生温泉井戸の埋戻し方法検討会 第 4 回 議事要約

於：東京国際フォーラム G605

平成 27 年 2 月 27 日 13 時 00 分から 16 時 00 分

出席者（敬称略）：環境省 森，永井，楠本  
検討委員 伊木，伊東，岡崎，金子，代田，長縄，宮原  
事務局 甘露寺，滝沢，村田

### 事業者ヒアリングの結果について

- ・ 事業者ヒアリング結果については、行政担当者には得にくい情報があるので、情報提供をお願いしたい。

### 埋戻し方法案について

- ・ 図 8 のセメントプラグの長さについては、ケーシングシューから上下それぞれに 30m 以上のプラグを設置することがわかるよう、現在の 60m 以上の表記を図 7 のケーシング重複部の表記のように変更する。
- ・ 図 8 の裸孔部の下の方は堆積物で埋まっていることが多いので、図に堆積物を記載する。
- ・ 裸孔部が埋没している場合も、ストレーナー一部と同様、ガスの発生がないのであれば、あえて浚渫する必要はないとする。
- ・ 「木栓」については、木栓をセメントプラグの代替品として使用してもよいと勘違いしかねないので、「木栓」の用語を使用しないこととする。また、ブリッジプラグについては、セメントプラグを形成する際の補助器具として使用することとし、ブリッジプラグをセメントプラグの代替品として使用するよう誤解しかねない文章が無いか確認を行い必要があれば修正する。
- ・ 参考資料に以下の資料を加える
  - 「温泉法によるメタン濃度測定手法マニュアル」
  - 「温泉掘削での可燃性天然ガス事故を防ぐため、環境省パンフレット」
  - 「温泉施設での可燃性天然ガス事故を防ぐため、環境省パンフレット」
- ・ トレミー管については、鉄製ではなく、硬質塩化ビニール製の管も使用する

ので、「鉄管」を削除する。

- ・ セメントプラグの長さを確認する有効な方法がないので、充てんに使用したセメントや充てん剤の量についても報告書に記載するよう明記する。
- ・ 報告書には、井戸の位置について、緯度経度で示すことが望ましいことを記載する。
- ・ フローチャート下段に記載されている「作井」は、「計画し、掘削する」に修正する。
- ・ 施設解体業者によって孔口を破壊されたり、孔内に廃材を入れられたりする事例があるため、埋戻し工事までの孔口保全の措置を追加する。

## その他

- ・ 本日の議論は最終案に反映し委員に送付するので、ご意見をいただきたい。その後の最終案は、報告書提出の時間的な制約もあり長縄座長、環境省、事務局による協議に一任させていただく。